

名古屋市中央卸売市場北部市場 整備基本計画 〈概要版〉



平成28年3月

名古屋市

名古屋市中央卸売市場北部市場整備基本計画の全体像



名古屋市中央卸売市場北部市場整備基本計画策定にあたって

□ 整備基本計画策定の趣旨

名古屋市中央卸売市場北部市場は、施設の老朽化や、卸売市場を取り巻く環境の変化等を踏まえ、今後も中央卸売市場としての機能を発揮していくには、市場内外から求められるニーズに、ハード・ソフト両面で早急に対応することが必要となっています。

このため、平成 26 年度に策定した整備基本構想をさらに具体化し、北部市場が「産地・消費者から選ばれる中部圏の流通拠点」として機能できるよう、「名古屋市中央卸売市場北部市場整備基本計画」を策定しました。

□ 計画期間

平成 28 年度から平成 42 年度までの 15 年間

1 北部市場の現況と課題

(1) 北部市場の課題

整備基本構想で抽出した課題、さらに市場内事業者のヒアリングを基にした北部市場の取扱数量減少の特徴的な要因を反映し、北部市場の課題として整理しました。

○ 信頼される品質の確保への対応

川上・川下双方から信頼される品質管理・鮮度維持の確保が不可欠となっています。また、流通履歴などの情報を正確かつ詳細に管理することが必要です。

○ 物流機能の強化への対応

中部圏の供給量の拡大を視野に入れ、大型車両に対応した全天候型の荷降しスペースの確保のほか、業務車両と通勤車両動線の錯綜の回避など物流動線の改善が必要です。

○ 中間流通拠点としての付加価値の拡充への対応

環境変化に対応し、特に商品や小売形態の変化・多様化に応じた強化を図るため、温度管理された加工処理機能など付加価値の高い新たな機能を備えることが必要です。

○ 情報収集・活用及び企画提案機能の強化

産地と消費者を結ぶ役割に加え、産地の育成支援を行っていくことが課題です。また、働く場としての魅力を向上させるため、就業環境を整備することが不可欠です。

○ 地球環境問題及び大規模災害への対応

環境に配慮した取り組みや、災害時での市場機能の確保への対応が必要です。

(2) 整備にあたっての施設上の課題

整備にあたって考慮しなければならない課題を、以下のとおり整理しました。

区分	内容
既存施設の活用	既存建築物の構造体耐久力確認及び基幹設備の老朽化対策
土地の有効活用	市場業務と並行して大規模改修を行うための土地の有効利用
耐震化・市場活性化	施設の耐震化への対応及び関連商品棟のあり方の検討
その他の課題	建ぺい率制限及び河川法等の規制

2 整備に向けた方針と目標

(1) 整備に向けた目標設定

○ 取扱数量と取扱金額の目標

取り組みを通じた整備基本計画の目標として、取扱数量及び取扱金額を次のように設定しました。

区 分		現状(平成 26 年度)	目標値(平成 42 年度)
青果部	取扱数量	30.7 万トン	35 万トン
	取扱金額	750.7 億円	854 億円
水産物部	取扱数量	2.6 万トン	2.6 万トン
	取扱金額	220.1 億円	220.1 億円

○ 施設整備規模

目標値の達成に必要と考えられる施設整備規模を設定しました。

区 分		現状規模(m ²)		施設整備規模(m ²)
青果部	卸売場	28,500		23,000
	荷降しスペース	—		(6,000)
	他市場等転送スペース	—		(2,400)
	積込み・一時保管スペース	—		20,000
	仲卸売場	12,000		12,000
	計	40,500		55,000
水産物部	卸売場	4,800		4,800
	屋根付き積込みスペース	1,500		4,200
	他市場等転送スペース	(500)		(500)
	仲卸売場	4,100		4,100
	計	10,400		13,100

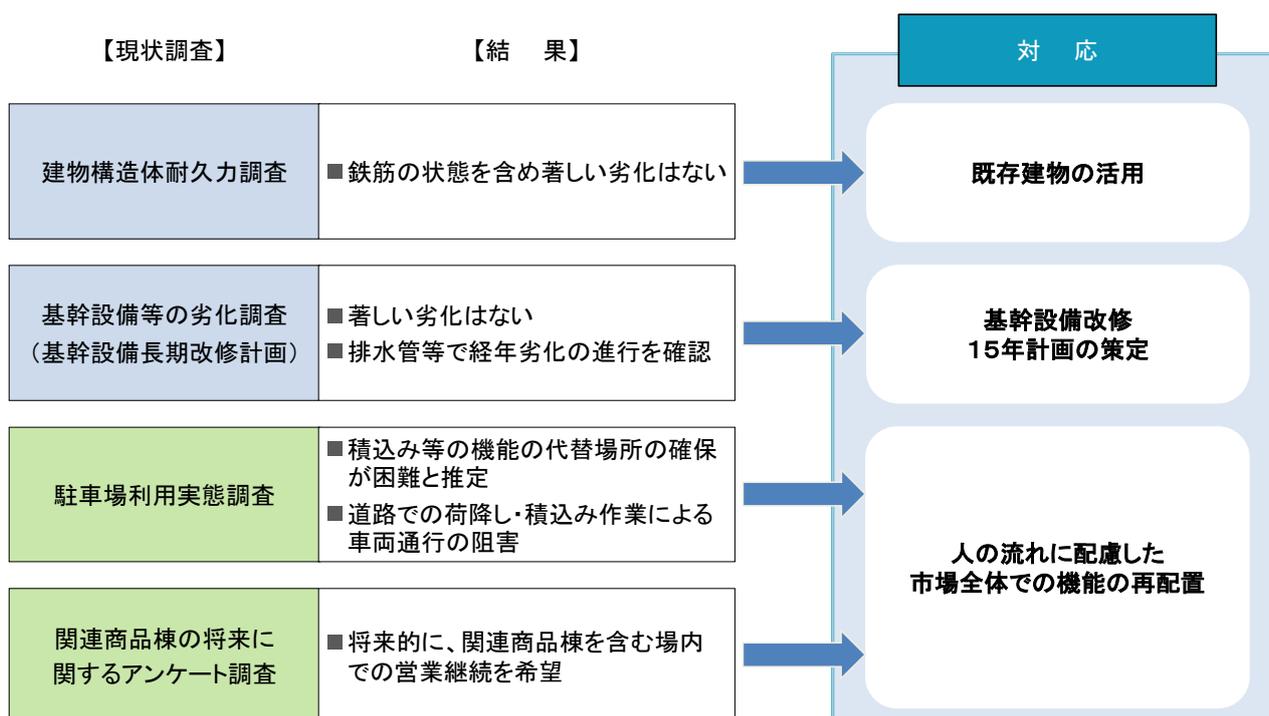
注 施設整備規模は、目標値を基に、農林水産省が定める標準取扱量に従い必要規模を算出し、その上で市場内事業者からの要望等も加味して設定

○ 健全な市場会計の運営に留意した施設整備

施設整備にあたっては、健全な市場会計の運営に留意しつつ、市場内事業者の使用料やランニングコストの負担に過度な影響を及ぼさないよう配慮します。

(2) 整備に向けた調査

施設整備に先立ち現状調査を行い、その結果を踏まえて今後の対応を検討しました。



3 整備の方向性

(1) 施設整備の区分

国の第10次中央卸売市場整備計画へ登載し、予算の確保などを進める「整備に向けて手続を進める施設」と、建ぺい率制限の影響などの諸条件の整理を行う「整備に向けた調整を進める施設」の2つに区分して整備を進めます。

部門	整備に向けて手続を進める施設	整備に向けた調整を進める施設
青果部	<ul style="list-style-type: none"> 青果棟1階北側に屋根付き配送施設を増設等 業務車両と通勤車両の動線分離に向けた新たなルート設定などのハード整備 青果低温加工施設新設 	<ul style="list-style-type: none"> 青果仲卸売場低温化 青果棟と駐車棟間の通路有蓋化
水産物部	<ul style="list-style-type: none"> 水産棟1階北側の平面駐車場を有蓋化 	<ul style="list-style-type: none"> 水産仲卸売場低温化 塩干低温卸売場高機能化 水産棟南西面積込所増設 水産低温配送施設新設
市場全体	<ul style="list-style-type: none"> 市場全体の衛生的なトイレへの改修 夜間照明の改良等安全確保のための施設整備 省エネルギー設備の導入 場内運搬車両の電動化など低公害車の導入 非常用電源等必要機能の確保 災害用器材等の備蓄用倉庫の新設 	

(2) 整備に向けて手続を進める施設の整備内容

予算の確保など具体的に手続を進める施設について、以下のとおり具体的な整備内容を掲げます。

- ◇ 青果棟1階北側に屋根付き配送施設を増設等
- ◇ 業務車両と通勤車両の動線分離に向けた新たなルート設定などのハード整備

【整備方針】

○ 天候の影響を受けないスペースの確保

天候の影響を受けない、衛生的で効率的な荷降し・積み込みが可能なスペースを確保するため、青果棟北側に屋根付き配送施設を増設するほか、その北端部を入荷車両の専用スペースとすることにより、効率的な荷降し及び渋滞緩和を図ります。

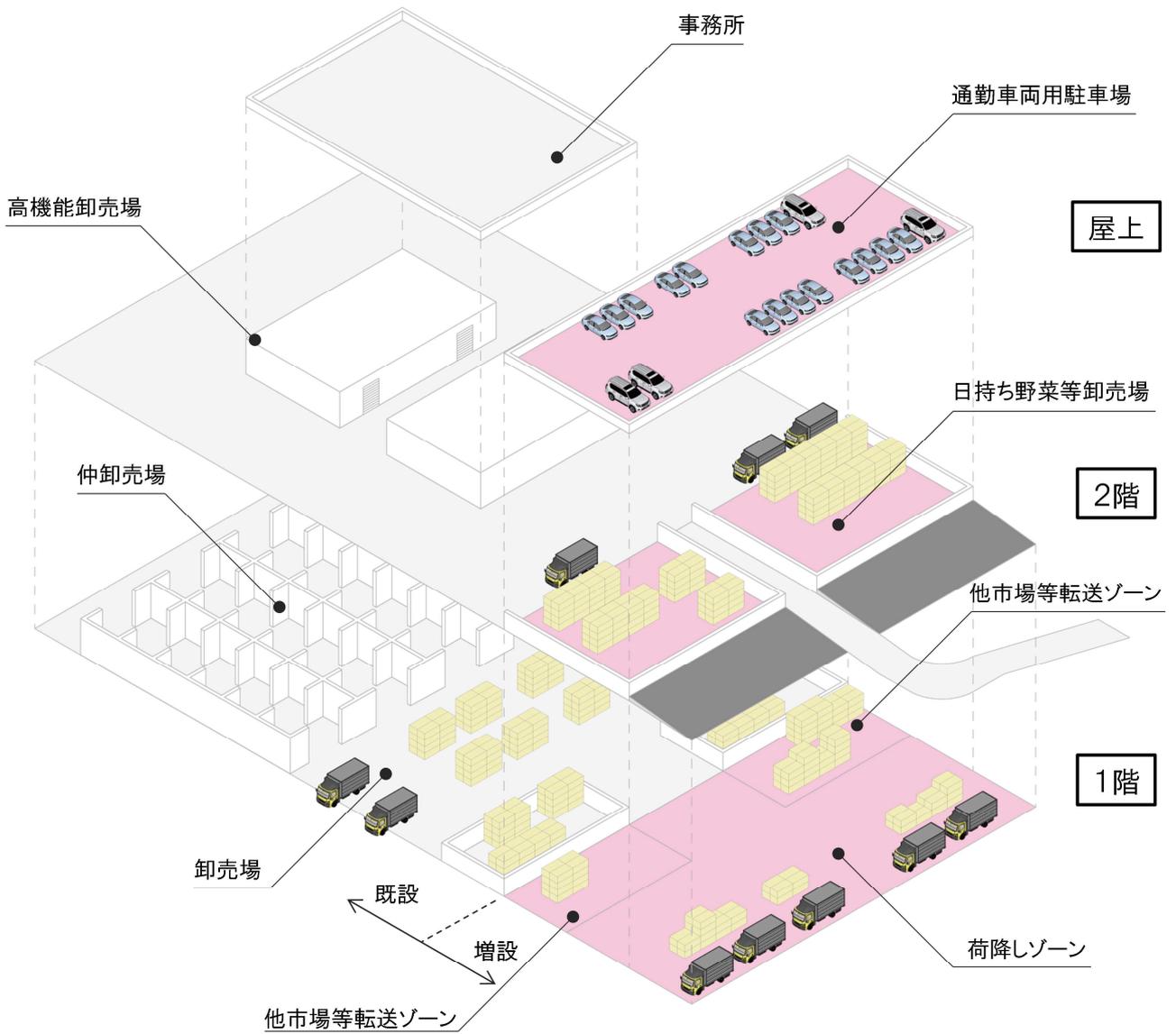
○ 荷降し・積み込み等の機能の分離

増設する施設及び既存卸売場を、荷降し・積み込みなどの機能別に分けることにより、作業の効率化及び車両動線の錯綜による混雑の解消を図ります。

【整備内容等】

事 項		内 容
規 模 構 造 等	屋根付き 配送施設	<ul style="list-style-type: none"> ・規 模：延床面積 約 15,000 m² ・構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建 ・設 備：貨物用エレベーターの設置
	動線分離に 向けたハー ド整備	<ul style="list-style-type: none"> ・北東門及び延床面積約 2,000 m²のスロープを新設し、増設する施設の屋上などへ接続する また、西門を新設し、駐車棟西側スロープへ接続する ・新設門には、通勤車両用セキュリティゲートを設置する
物流動線の改善等		<ul style="list-style-type: none"> ・市場内事業者の協議により定められたルールに基づき、作業スペースの創出など効率の良い市場内物流を確保する ・積み込みまでの作業時間を短縮するなど効率化を図る

【青果棟1階北側に屋根付き配送施設を増設 イメージ図】



◇ 水産棟1階北側の平面駐車場を有蓋化

【整備方針】

○ 衛生的で効率的な積込みスペースの確保

水産棟北側の平面駐車場の有蓋化を図り、天候に影響を受けない衛生的で効率的な積込みスペースを確保します。

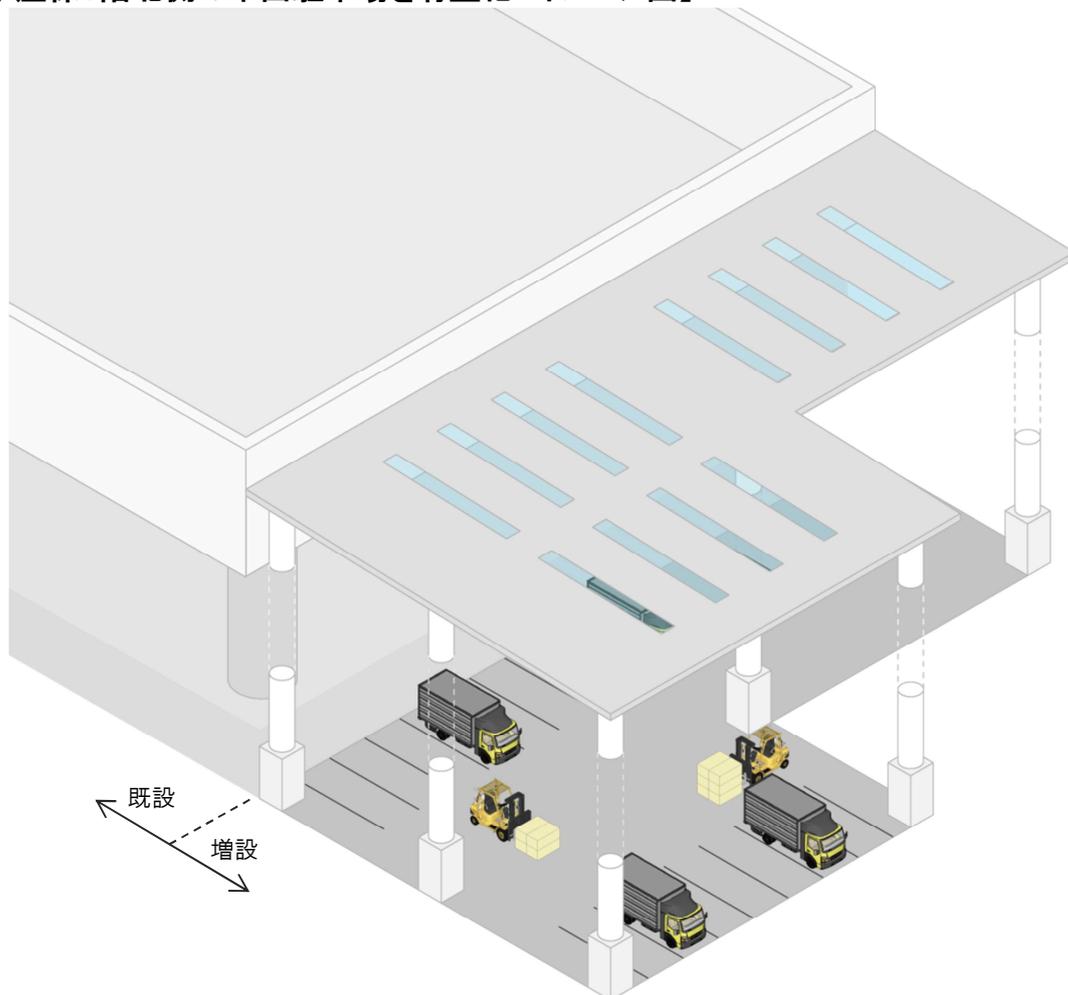
○ 作業動線と車両動線の分離

フォークリフト等の作業動線と車両動線を分離することにより、安全の確保及び作業の効率化を図ります。

【整備内容等】

事 項	内 容
規模・構造等	<ul style="list-style-type: none"> ・規 模：延床面積 約 2,700 m² ・構 造：鉄骨造 平屋建 ・設 備：トップライトを設け、自然採光による昼間時の照度を確保
物流動線の改善等	<ul style="list-style-type: none"> ・平面駐車場の有蓋化に合わせて車両通路を付け替え、車両通路と積込み・荷捌きエリアの分離を図り、安全を確保する ・荷降しから積込みまで全天候に対応した物流動線とし、作業の効率化を図る

【水産棟1階北側の平面駐車場を有蓋化 イメージ図】



◇ 市場全体の衛生的なトイレへの改修

自動洗浄機能などを取り入れた非接触式トイレの導入や洋便器化、水の使用量の削減、臭いの発生抑制機能の導入、多機能トイレの設置等を行います。

◇ 青果低温加工施設新設

実需者ニーズの変化に対応できる加工機能を備えた施設として、HACCP の手法を用いて衛生管理を高度化した低温加工施設を整備します。

◇ 夜間照明の改良等安全確保のための施設整備

点灯時間が概ね 5 時間以上の照明を中心に LED 照明に切り替え、照明の配置を見直すことを含め、必要な照度を確保できるようにします。

◇ 省エネルギー設備の導入

LED 照明への切り替えや、「トップランナー基準」を満たす設備・機器へ更新して、エネルギー効率の向上を図るとともに、新たな省エネルギー設備の導入も検討します。

◇ 場内運搬車両の電動化など低公害車の導入

場内運搬車両の電動化又は低公害車の導入を推進するとともに、場内運搬車両の電動化に対応した、充電設備の増設及び必要電力の確保を図ります。

◇ 非常用電源等必要機能の確保

災害時の市場機能確保に必要な電力規模を検討し非常用電源を更新します。

◇ 災害用器材等の備蓄用倉庫の新設

災害時の市場の役割を果たすために災害用器材等の備蓄用倉庫を整備します。

(3) 施設整備とともに取り組む内容(ソフト事業)

北部市場が将来ビジョンの実現を図るには、施設整備だけでなく、これを最大限に活かすための様々な取り組み(ソフト事業)も不可欠です。

○ 施設整備を活かす取り組みと施設整備のために必要な取り組み内容

- 「整備に向けて手続を進める施設」と併せて、各項目を検討・実施していきます。
- 時間コストの見える化、荷降しなどのルール化 等

○ 現在取り組みを進めている内容

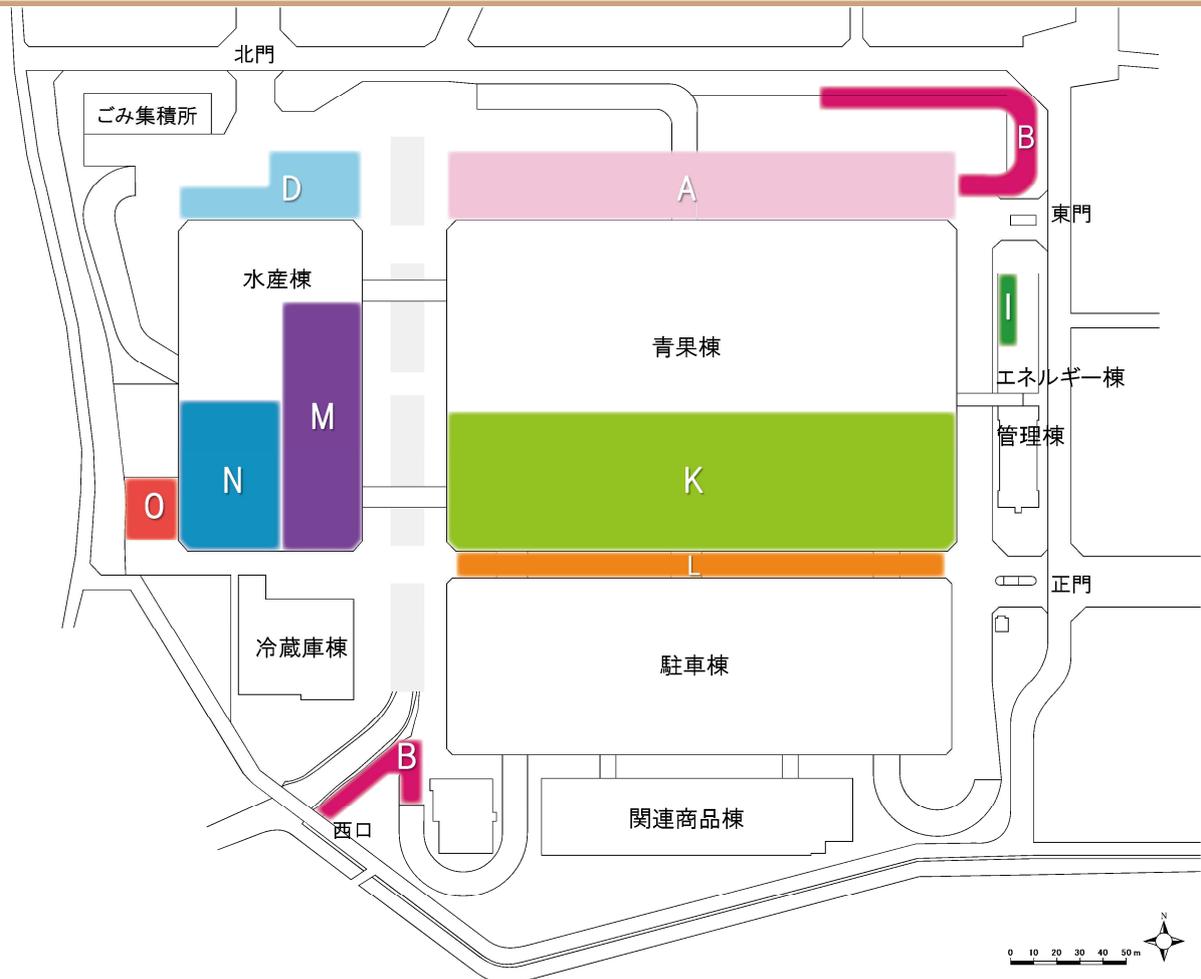
- 現在取り組みを進めていますが、今後も持続的かつ確実に取り組みを進めていきます。
- 入荷から出荷までの衛生管理、最適な温度での商品管理 等

○ 今後取り組む必要がある内容

- 将来ビジョンの実現を図るため、新たな取り組みを進めていきます。
- 市場全体の機能の充実・再配置、輸出に対応するための機能の検討 等

4 施設整備計画の概要

(1) 全体配置計画



区分	部門	整備内容
整備に向けて手続を進める施設	青果部	A 青果棟1階北側に屋根付き配送施設を増設等
		B 業務車両と通勤車両の動線分離に向けた新たなルート設定などのハード整備
		C 青果低温加工施設新設
	水産物部	D 水産棟1階北側の平面駐車場を有蓋化
	市場全体	E 市場全体の衛生的なトイレへの改修
		F 夜間照明の改良等安全確保のための施設整備
		G 省エネルギー設備の導入
		H 場内運搬車両の電動化など低公害車の導入
		I 非常用電源等必要機能の確保
		J 災害用器材等の備蓄用倉庫の新設
K 青果仲卸売場低温化		
整備に向けた調整を進める施設	青果部	L 青果棟と駐車棟間の通路有蓋化
		M 水産仲卸売場低温化
	水産物部	N 塩干低温卸売場高機能化
		O 水産棟南西面積込所増設
		P 水産低温配送施設新設

注1 Cについては、青果棟・駐車棟エリアを中心とした検討・整備を示しています。

2 E、F、G、H、Jについては、場内全体に関わる整備を示しています。

3 Pについては、水産棟エリアを中心とした検討・整備を示しています。

(2) 概算施設整備費用及び整備スケジュール

○ 概算施設整備費用

青果棟1階北側の屋根付き配送施設の増設、水産棟1階北側の平面駐車場の有蓋化等市場機能を強化する整備に要する費用として約100億円、基幹設備改修などの市場機能を維持するための整備に要する費用として約80億円を見込み、施設整備全体の概算費用で約180億円と想定しています。

○ 整備スケジュール

整備項目	内容	年度														
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
青果部																
青果棟1階北側に屋根付き配送施設を増設等	A	機能移転														
	B	設計														
		工事														
業務車両と通勤車両の動線分離に向けた新たなルート設定などのハード整備																
青果低温加工施設新設	C	注1														
水産物部																
水産棟1階北側の平面駐車場を有蓋化	D	設計														
		工事														
市場全体																
市場全体の衛生的なトイレへの改修	E	設計														
		工事														
夜間照明の改良等安全確保のための施設整備	F	注2														
省エネルギー設備の導入	G	注2														
場内運搬車両の電動化など低公害車の導入	H	注2														
非常用電源等必要機能の確保	I	注2														
災害用器材等の備蓄用倉庫の新設	J	注2														
青果部																
青果仲卸売場低温化	K	注3														
青果棟と駐車棟間の通路有蓋化	L	注3														
水産物部																
水産仲卸売場低温化	M	注3														
塩干低温卸売場高機能化	N	注3														
水産棟南西面積込所増設	O	注3														
水産低温配送施設新設	P	注3														
基幹設備長期改修計画		設計・工事(前期)														
		設計・工事(中期)														
		設計・工事(後期)														

注1 施設整備上の課題、検討状況を踏まえ整備する予定です。

注2 この期間内で、設計・工事等約2年程度を想定しています。

注3 この期間内で、法的制限や施設整備上の課題の検討状況を踏まえ整備する予定です。

○ 鳥瞰パース図



名古屋市中心卸売市場北部市場整備基本計画（概要版）
平成28年3月

発行 名古屋市中心卸売市場北部市場
〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字八反 107 番地
電話番号 (052)903-2111 FAX (052)903-2108

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。